



目次

WELL 卒業生からのメッセージ・・・p1-3

WELL 現メンバーからのメッセージ・・・p3

WELL History・・・p3-6



WELL10 周年記念 特集号

図書館サポーターWELL は 2013 年 11 月に活動をスタートし、今年で 10 年目を迎えます。この間、在学中に WELL として活躍し、卒業された方は 50 名を超えました。この度、その中から 6 名の先輩方がメッセージをお寄せくださいました。また現メンバーからのメッセージも届いております。さらに活動の節目を記念して、成り立ちからこれまでの活動をまとめてご紹介いたします。ぜひご一読ください。

WELL 卒業生からのメッセージ

※ 卒業年順に掲載しています

WELL10 周年おめでとうございます！

WELL の前身であるブッククラブ発足当初、何をすればいいのか暗中模索していた私たちに素敵なアイデアやアドバイスをくださった川崎末美先生、図書館の皆さまにはとても感謝しています。

読書会や当時の学長でいらした村上陽一郎先生へのインタビューなど、ブッククラブがあったからこそその体験、出会いがありました。その経験は社会人になった今も自分を助けてくれます。

英和生の皆さんにも色々な出会いをしてほしいと思います。人によってそれは友達であったり、勉強であったりするでしょう。その出会いがこの先の自分を作って、時には自分を守ってくれる思い出になります。

最後になりましたが、皆さまが素敵な学生生活を過ごされることを願っています。

(人間科学部人間科学科 2013 年卒業・A.A.さん)

東洋英和女学院大学にご在籍の皆様へ。

「WELL」が発足して十年を迎えられたとお聞きし、そこまで歴史が紡がれていったことに「ブッククラブ」時代からの参加者として誇らしく思います。

先輩の経験としては、在学中にやりたいと思ったことはためらわず実行し、行きたいと思った場所には足を運び、読みたいと思った本は全て手に取ってください。

コロナ禍で制限の多い時代ではありますが、心の自由は狭めずに「夢・希望・好奇心」を大切に毎日充実したものになりますように、お祈り申し上げます。

(人間科学部人間科学科 2014 年卒業・内田 弘美さん)

※ WELL という名前は内田さんの発案です。

理想の図書館を考えプレゼンテーションをしたことをよく覚えている。

価値観の違う友人や後輩と共にチームを組み、意見をすり合わせ、決めたコンセプトでさらに話し合う。私は機械オンチで頑固なところがあるが、他のメンバーがそれを補ってくれた。最後までスライドを作り込み、手書きの参考資料まで付け足した。実を言うと、本番のことは全然覚えていない。尽力したという記憶だけ残っている。

別に図書館が大好きなわけでは無かった。図書館へは「なんとなくいいなあ」くらいの印象。それが、本にまつわるスポットを巡るにつれてか、図書館の内部事情(?)を知るにつれてか、自分の好みを見つけていった。好みが分かると新しい何かを作りたくなる。そうして自分の“推し”が出来上がっていった。それをメンバーが磨きあって、プレゼンテーションが完成したのだと思う。

現在、私は図書館とは関係のない部署異動の多い仕事をしている。しかし、どこへ配属されても、尽力の仕方を知っているため頑張れるだろう。今後は、“推し”が“信念”となるまで磨き上げていきたい。

(人間科学部人間科学科 2017 年卒業・松田 葉月さん)

WELL 10 周年誠におめでとうございます。

私は、2017 年卒で 3 年間 WELL に参加させて頂きました。

WELL での思い出で真っ先に思い出されるのは、図書館の未来を考えるプレゼン大会です。大学図書館のあり方や、学生が求める環境について考え、良いアイデアは、英和の図書館に取り入れてもらえるという企画でした。他大学の図書館に出向き、特徴をまとめ、WELL の仲間で議論を交わし、当時できる限りを発表にぶつけました。

結果としては、優勝は逃しましたが、原因は明確で、“自分がしたい発表”になってしまい、テーマがぶれてしまった事でした。いつの間にか夢中になって、ついやりすぎました。しかし、学びも多く、最高に幸せな時間でした。

皆様もやりたい事、興味がある事があれば WELL の方に相談してみてください。きっと力になってくれます。私たちが大好きだった WELL がこれからも続いて行きますように。

(人間科学部人間科学科 2017 年卒業・本間 りさ子さん)

WELL 活動 10 周年おめでとうございます！

私は「みんなの図書館プロジェクト」をきっかけに WELL に参加しました。そこで素敵な先輩、後輩、先生方、職員の方々とめぐりあい交流できたことは大学生生活一番の思い出です。WELL に参加して、学生のためを考えてくれる図書館の皆様に一層惚れた記憶もあります。卒業したあとも続く関係ができるのはとても貴重ですね。知識や経験は決して無駄にはなりません！

大学生のうちにはやるべきことをやりつつ、好きなことに一生懸命になることが一番だと思います。お金はないけど時間はたくさんあるのが大学生と言われていますから、時間を持って余してる人は図書館でたくさん本を読むことをおすすめします。

(国際社会学部国際コミュニケーション学科 2019 年卒業・矢島 聡子さん)

WELL 10 周年おめでとうございます！

WELL の活動で印象的だったことは、参加メンバーと最近読んだ本やおすすめの本を紹介しあったことです。毎回ミーティングで、最近読んだ本を話したのですが、メンバーから紹介される本はどれも面白く、気づいたら一冊読み終えてることがほとんどでした！

特に、自分では手に取らないジャンルの本を教えてもらうことが多かったので、読書で得る知識の幅が増えました。

読書のきっかけはなんでもいいと思います。私はタイトルや表紙に惹かれた本を手に取りますし、昔読んだ本

を大人になった今読むと新しい発見がたくさんありますよ。気張らず、ふらっとカフェに立ち寄る感覚で、図書館に足を運んでみてください。

沢山の人から愛される WELL の、ますますのご活躍を願っております。

(国際社会学部国際コミュニケーション学科 2022 年卒業・楠田 千乃さん)



WELL 現メンバーからのメッセージ

先輩方、素敵なメッセージをありがとうございます。

学内で「WELL」と名乗るとすぐに図書館の団体だ！と通ずることや、私たちが在学生が WELL で楽しい時間を過ごすことができているのは先輩方がこれまで築いてきてくださった成果であり、心から感謝しています。

今後も後輩たち、教職員の方々と協力し合い、コロナ禍に負けず東洋英和の図書館に活気が溢れるよう活動していきたいです。これからの WELL もよろしく願いいたします！

(人間科学部人間科学科 4 年・臼杵 ふたばさん)

先輩方、貴重なメッセージをありがとうございます。

WELL10 周年にあたり、先輩の方々から貴重なメッセージを拝見でき、とても嬉しく思っています。ありがとうございました。先輩のメッセージから、ブッククラブ発足から WELL のこれまでの活動を知ることができました。まさに WELL は図書館の進化と深化の歴史ですね。

また、実際の活動を通じて、WELL に入って良かったな、あの時レファレンスに声をかけて良かったな、と思っております。

私も 4 年生なので、下級生が楽しく学びある機会がたくさん経験できるように WELL を盛り上げていこうと思います！ 最後に改めまして、貴重なメッセージをいただき、ありがとうございました！

(国際社会学部国際社会学科 4 年・佐久間 咲妃さん)



WELL History ～ WELL の前身ブッククラブから現在までの振り返り ～



2009 年 12 月 WELL の前身であるブッククラブ発足

文部科学省「学生支援 GP¹」に採択された「卒業生活用によるキャリアの早期意識化と基礎学力強化による就職支援プログラム」(2009-2011 年度)の活動の一環として、人間科学科 1 年生の 2 名が活動を開始させました。主な活動は読書会の開催でしたが、文芸誌も発行し、かえで祭などで配布しました。活動はスタディカフェ(現:学習サポートセンター)が中心でした。

※写真は 2010 年に行った読書会『反貧困』の様子です。

¹ GP とは Good Practice の略。文部科学省が当時すすめていた大学教育改革施策の一つです。

2010年5月 第1回読書会を開催 取り上げた本は東野圭吾氏の『容疑者Xの献身』(文芸春秋, 2005年8月)、参加者は教職員を含め8名でした。その後読書会は定期的に開催し、他に、桜庭和樹『私の男』や池上彰『伝える力』、村上春樹『ノルウェイの森』なども取り上げました。

2011年9月 図書館サポーター発足 WELL のもう一つの前身団体です。ブッククラブがスタディカフェを中心としたGPでの活動だったことから、図書館を中心に読書会以外の活動もしたいと考え、活動してくれる図書館サポーターを募集して、応募してくれた5名の学生で活動を開始しました。早速10月には図書館舞台裏見学ツアー(バックヤード見学、簡単な作業体験)、11月には紀伊國屋書店ららぽーと店での選書ツアーを実施しました。

2011年10月 ビブリオバトル初開催 ブッククラブ第8回読書会としてビブリオバトルを初開催しました。エントリーしたのは6名。その中から人間科学科2年生が紹介した石井光太著『レンタル・チャイルド』(新潮社, 2010.5)が初のチャンプ本となりました。



2012年4月 先輩スピーチ初開催 図書館新入生オリエンテーションでブッククラブおよび図書館サポーター所属の4名が図書館活用法を初披露しました。新入生からは「先輩方の活用法を教えていただき、とても勉強になりました」「先輩からのアドバイスが聞けたのが良かった」という声が多く寄せられ大好評でした。この企画は先輩スピーチとしてその後代々受け継がれ、今年度は現メンバーメッセージを寄せてくれた臼杵さんと佐久間さんが担当してくださいました。写真も今年のものです。



2012年6月 レポート講座初開催

1・2年生を対象に、ブッククラブの学生2名が講師となってレポート作成の初歩を教える「これでばっちり！先輩が教えるレポート講座」を初開催しました。参加者はそれまでのイベントで最多の30名、この企画はこの後ほぼ毎年開催され、WELL恒例イベントとなりました。

※ 写真は2018年に5号館ラーニング commonsで実施したレポート講座の様子です。

2013年3月 学長賞受賞 ブッククラブが学長賞を受賞しました。創設以来、英和生の読書活動推進をミッションとし、読書会、ビブリオバトル等、様々な活動を自ら企画実施し、英和に読書の文化を広めることに貢献したことが認められました。

2013年4月 本のリユース初開催 図書館サポーター企画として、本のリユース(教職員、学部生から不要になった本を集め、5号館に本を並べて希望者に無償譲渡する)を実施しました。お昼休みに3日間実施して、120名241冊を譲渡することができました。



2013年9月 初めての遠足 ブッククラブ・図書館サポーターの6名と職員2名で紀伊國屋書店そごう横浜店&フェリス女学院大学緑園図書館見学へ行ってきました。この企画は後に「WELLの夏の遠足」という恒例イベント化し、国立国会図書館、国際子ども図書館、多摩美術大学図書館、日本近代文学館、印刷博物館など、様々なところへ見学に行きました。

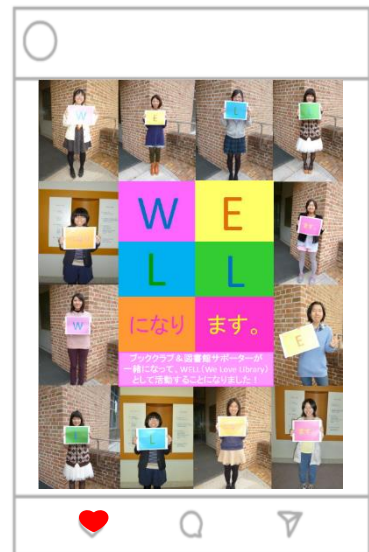
※ 写真は2018年に印刷博物館で活版印刷体験をした様子です。

2013年11月 WELLとしての活動スタート!

ブッククラブと図書館サポーターが合体してWELLとなりました。半年ほど前から名称の検討をはじめ、名称案には他に「ELiCA(エリカ) = Eiwa Library Christianity Assistant」「E10 = Eiwa 図(10)書館」というものもありましたが、直前のミーティングにおいて満場一致で「WELL」に決定しました。

WELLは「We Love Library」の略で、Weには「Women Eiwa」の意味も込められています。

今年11月から10年目の活動がスタートします。



2016年2月 「みんなの図書館」プロジェクト・プレゼンテーション大会 大学PBL型教育支援の一環として「英和生の目線から魅力ある図書館をデザインする」をテーマに「みんなの図書館」プロジェクトに取り組みました。期間は2015年11月～2016年2月まで、英和生11名(うちWELLメンバー7名)と図書館職員が協働して、他図書館を見学したり、図書館有識者による講演会を開催したりして、知見を共有した後、4チームに分かれてそれぞれの図書館デザイン案を作成しました。見事優勝したのはチーム名「THE ELIY」の「図書館改造計画(目的ごとにフロアが分かれたデパートのような図書館)」でした。

2017年1月 本の福袋をやってみました 本を複数冊まとめてパッケージングし、袋ごと貸し出す企画です。借りる人は中に何が入っているかは分からないので、表にあるヒントやキャッチフレーズだけを頼りに借りていきます。この企画もこの後「WELLのHappy Bag」として恒例イベント化しており、ここ数年は「図書館おみくじ」も入っていて中々の好評です。

2017年11月 「しおりちゃんを探せ! ~WELLからの挑戦状~ 2017年度のかえで祭において、忽然と姿を消した図書館マスコットの「しおりちゃん」を、謎解きをしながら探すというイベントを開催しました。謎解きは簡単なものから難しいものまで用意し、見事しおりちゃんを探しあてた人には賞品も用意。多くの方にご参加頂きました。



※ 写真は白熱した「作者カルタ」の様子です

2019年2月 横須賀学院高校図書委員との交流会開催

2016年に学術交流協定を締結した横須賀学院高校から1・2年生の図書委員6名を本学図書館にお迎えしてWELLとの交流会を開催しました。館内見学、貴重書をいくつかご紹介した後、図書委員の皆さんにお持ちいただいた手作りの「作者カルタ」に挑戦、最初はお互い少し緊張していましたが、このゲームで一気に打ち解けて、その後のブックトーク、座談会を楽しみました。横須賀学院高校の方々とは2021年2月にも交流会を開催しました。コロナ禍のためオンラインでの開催となりましたが、Zoom中継での館内ツアー、ブックトーク、質問コーナーなど、オンラインならではのチャット機能も使いながら交流を楽しみました。

2022年2月 横浜女学院図書委員との交流会開催

2020年に高大連携協定を締結した横浜女学院図書委員の方々とのオンライン交流会を開催しました。前年の8月から打ち合わせを重ね、準備を進めた「本のタイトル当てクイズ」や「ピブリオバトル」を楽しみました。「本のタイトル当てクイズ」は、横浜女学院図書委員からの提案で、タイトルの一部を隠した状態で、順に出される3つのヒントから当てるというものですが、参加者全員がひらめきと推理力を遺憾なく発揮し、大いに盛り上がりました。当日の様子は大学ウェブサイトの図書館Newsに掲載されています。

他にもこんなことをやりました

5号館出張図書館「WELL Café」、教員インタビュー(村上陽一郎先生、岡本浩一先生、渡辺和子先生ほか)、入学前教育スクーリング時のファシリテーター、オープンキャンパス時の図書館ガイド、本の修復ワークショップ、選書ツアー本展示、館内のクリスマス飾り付けなど。

WELLで一緒に活動しませんか？

募集中!

Q:入会方法は？ A:イベントやミーティング(月2回開催)にご参加頂けただけでOKです。英和生ならどなたでもご参加頂けます。開催告知は図書館ウェブサイトやe-passでお知らせいたします。毎回必ずご参加頂く必要はありませんので、忙しい方でも好きな時だけご参加頂けます。【連絡先:well@toyoeiwa.ac.jp】

Q:どんな活動をしているの？ A:前述の通り様々な活動をしています。やってみたいことがあったらぜひお知らせください。みんなでチャレンジしてみよう。

お仕事で忙しい中にもかかわらず快くメッセージを送って下さったOGの皆様、本当にありがとうございます。全員にお声がけできず申し訳ございませんでした。もし宜しければお暇な時で良いので、私も元気になってます!とご一報頂けると職員一同とても嬉しい限りです。また、かえで祭が対面で実施できるようになったら、ぜひご来館ください。今後とも末永くよろしくお願い申し上げます。

図書館だよりは図書館ウェブサイトからバックナンバーも見ることができます

<https://sites.google.com/toyoeiwa.ac.jp/library/kankou/toshokandayori>

(編集担当:青山)